

冬の風物詩そろいました

自然薯・つるし柿・水仙

11月24日、県自然薯まつりが南条特産会館で開かれ、新鮮な自然薯を買い求める人で賑わいました。品評会には、県内の生産者から153点が出品され、重さや形状など8項目の審査の結果、11点が入賞。福井新聞社長賞に山本正さん（鋳物師）、県自然薯生産組合連合会長賞に村田満さん（下新道）の出品した自然薯が選ばれました。



12月3日、今庄特産柿振興会がJA越前たけふ今庄支店でつるし柿品評会を開きました。町内の生産者から29点が出品され、光沢や味など5項目の審査の結果、8点が入賞しました。入賞は次の皆さん。（敬称略）



- 県知事賞 中澤 茂（孫谷） 町長賞 赤沢武夫（孫谷）
- 丹南農林総合事務所賞 中澤則明（孫谷）
- 特産柿振興会長賞 藏谷一男（古木）
- 特産柿出荷市場賞 坂下 勇（二ツ屋）
- JA越前たけふ経営管理委員会賞 塚田義正（二ツ屋）
- 県経済農業協同組合連合会長賞 坂口雅子（二ツ屋）
- 南越農業農村振興協議会長賞 赤田一夫（南今庄）

12月4日、越前水仙出荷協議会が県庁で越前水仙品評会を開きました。福井市、越前町、南越前町の生産者から84点が出品され、花の色や全体のバランスなど10項目の審査の結果、6点が入賞。県知事賞に山下早苗さん（河野）の出品した水仙が選ばれました。



スキーシーズン到来

今庄365スキー場安全祈願祭

12月8日、今庄365スキー場で安全祈願祭が行われ、増澤町公共施設管理公社理事長や梅木町議会議員、スキー場関係者ら約50人が出席し、シーズン中の安全を祈りました。

増澤理事長は「今年はキッズパークを広げるなど施設も充実、あとは恵みの雪を待つばかり。関係者全員力を合わせて、10万人突破を目指したい」とあいさつ。今シーズンもハッピーファミリーデーなどのイベントが企画されており、多くの来場者が期待できそうです。



抱腹絶倒!!

よしもとデリバリー劇場

12月7日、南条文化会館で、よしもとデリバリー劇場が開かれ、約500人が詰め掛けました。

中川家や笑い飯、アジアン、ジョイマンなど今人気のお笑い芸人がステージに立つと、大きな拍手と歓声が沸きおこり、テンポの良い漫才に会場は大爆笑。また、来場者が出演者に質問をするトークコーナーでは、出演者が答えに困るような質問が飛び出すなど、訪れた人たちは、冬の寒さを吹き飛ばすお笑いショーを満喫していました。



歴史ある館を訪れて 北前船主の館・右近家入館者50万人達成



北前船主の館・右近家の入館者が、11月18日、50万人目を迎え、50万人目となった伏見和光さん（静岡市）に、増澤町長から船絵馬と右近家の案内図録が贈られました。

伏見さんは妻の厚子さんとあわら市の温泉に向かう途中に来館。「家の柱や梁、造りが素晴らしく北前船の歴史に興味湧きます。今日は思いがけないプレゼントにビックリ。このようなことはあまり経験ができないので、良い記念になりました」と喜んでいました。

スポーツ環境に新たな展開 総合型地域スポーツクラブフォーラム

11月29日、南条文化会館で、総合型地域スポーツクラブフォーラムが開催され、約150人が参加しました。これは、気軽にスポーツを楽しむことができ、地域の交流の場ともなる、新しいクラブについて知ってもらおうと開かれたものです。

フォーラムでは、実際にクラブ運営に携わる講師によるクラブ設立までの経緯、活動内容などに関する講演会やグループディスカッションが行われ、参加者らはスポーツ環境の現状や課題、今後の取り組み方について理解を深めました。



きれいな花 咲いてね

湯尾小学校5・6年生植樹

12月2日、JR北陸線沿いの新北府区から鯖波区までの山沿いに、湯尾小学校5・6年生24人がコブシの苗木50本を植樹しました。これは湯尾生産森林組合が、子どもたちに森林と自然への関心を高めてもらおうと行われたものです。児童らは、森林の役割や植え方の説明を受けた後、作業に取りかかり「きれいな花が咲いてほしいな」と話しながら丁寧に植樹しました。



自分で打つと楽しくて、おいしいよ!

新そば収穫感謝祭

11月30日、新そば収穫感謝祭が今庄そば道場で行われ、町内外から訪れた大勢の人たちが新そばを味わいました。新そばは10月下旬に今庄で収穫。そば打ち体験に訪れた家族連れは「年末に自宅でおいしいそばが打てるように、指導員さんの技をしっかりと覚えて帰ります」と年末のそば打ちに向けて意気込みを話しました。この日は、そば粉を挽く石臼挽き体験や山菜汁の振る舞い、地場産野菜直売も行われ、訪れた人たちは新そばを味わうとともに、地元で採れた山菜など秋の実りを堪能しました。

